

研究タイトル:

北海道の淡水水産資源の増殖技術改善と有効利用



氏名:	小林 渡/KOBAYASHI Wataru	E-mail:	wataru@asahikawa-nct.ac.jp
職名:	教授	学位:	理学博士
所属学会・協会:	日本生化学会, 日本動物学会, 日本発生生物学会		
キーワード:	生殖生物学, 魚卵有効利用, サケ, カワヤツメ		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・生体物質に関する共同研究 ・水生動物を使った動物実験 ・生殖生物学に関する講演 ・環境問題に関する講演 		

研究内容: 北海道の淡水性水産資源の可能性を探る

石狩川水域の「サケ(シロサケ)」や「ヤツメウナギ(カワヤツメ)」の生殖に関わる物質の研究を通して、これらの水生生物の生殖のしくみを研究しています。特に、生殖器官や卵に含まれるタンパク質の生理的機能(卵にとっての役割)に興味を持っています。これらの生物の体や卵は食品として利用されていますが、食用に適さない部位が廃棄物として処理されており、これらの廃棄物の有効利用の可能性にも興味を持っています。

【カワヤツメ】

石狩川水系の水産資源の1つとして健康食品、薬品原料として珍重されてきた。魚類ではなく、アゴ(顎)を持たない原始的なセキツイ動物として学術的にも重要な生物である。近年は漁獲量が激減し、増殖事業の確立を目指して各機関で調査研究が行われている。

【シロサケ】

石狩川水系千歳川をはじめ道内各地の河川でおなじみの資源ですが、魚体そのものやイクラとして食用となるばかりでなく、精子(白子)から採れる DNA や特殊なタンパク質、魚体表面の皮からとれるコラーゲン、廃棄卵巣組織の有効利用が実現しているが、まだまだ可能性を秘めている。また、近年資源量が減少し、増殖事業の改良も臨まれている。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	
電気泳動装置(一次元、二次元)	
ウエスタンブロットング用装置	
ゲルからのタンパク質抽出に関する機器	